

結果報告

勉強会の開催状況について

News2025.09.23

町田市議会 無所属会派（無所属会派 代表：松岡みゆき）

結果報告「電子投票システムの勉強会と模擬投票体験」

東京都内自治体議会（区部も含む）で初めて（2025.09.22）開催実績

町田市議会の全会派（6会派）と諸派議員が出席参加

電子投票とはどういうものを、参加者全員が体験できる勉強会を始めて開催しました。

「電子投票システムの勉強会とその模擬投票体験」をセットにした研修の場を、町田市議会議員を対象にして開催したものです。この企画は、町田市議会の無所属会派が主催したものであり、開発メーカーの京セラ株式会社の出張協力を得て、東京都内の自治体議会では初めて開催できた画期的なものでした。

この日の勉強会には、町田市議会の全会派（6会派）と諸派の議員が出席し、さらに木目田市議會議長も個人参加したもので、いわゆる超党派的な勉強会となる有意義なものでした。



町田市議会（定数 36 名、現在 3 名欠員）の会派数は 6 会派です。他に諸派議員 5 名がいます。まちだ市民クラブ（7 名）、公明党（5 名）、自由民主党（4 名）、日本共産党（4 名）、選ばれる町田をつくる会（4 名）、無所属（3 名）他に諸派議員 5 名がいます。この電子投票の勉強会は、全会派 + 諸派の議員の参加があり、最小の「無所属」会派の呼びかけに応じて全会派の議員と諸派議員が参加されたのが画期的な取り組みでした。

電子投票システムのレクチャーを受け、質疑応答。模擬投票体験を行う。

この勉強会は、町田市議会の第 3 委員会室を全面使用し、紙の資料配布を一切行わず（ペーパーレス）、2 台の電子黒板と、各議員は電子ファイルを事前に配信し、持ち込みのパソコンやタブレットで閲覧する方法を用いました。

模擬投票体験では、実名の氏名は用いず架空の氏名が使われました。開票に関しては、2500 人分の投票サンプルが用いられ、500 人分のデータが入った 5 個の USB データを、開票ソフトを使ったパソコンで瞬時に読み取っていました。1 万票の集計が約 2 分 40 秒(1 台の PC 利用)という実績を出しています。



今後の展望。実際の選挙に使用されるか。広がりの形態と行政機関、市民意識への普及

参加議員に質疑で、この電子投票選挙の実施にはどれほどの時間がかかるのかと言うものがありました。説明では令和6年12月に実際電子投票選挙が導入された大阪府四條畷市の例が取り上げられ、市長の決断と議会の電子投票選挙条例の制定、それに予算案の策定と、議会の承認を必要とするということで、半年以上はかかるというものでした。市民を巻き込んだ議論を要するというものでした。実際に現地の電子投票選挙を終えた有権者にその使い勝手を聞くと、世代を超えて簡単だったという返事を受けました。



*四條畷市の令和6年の市長市議補選で電子投票開票システムが使用されました。写真はその時に視察撮影したものをお採用しています。

今後、この「電子投票開票システムの勉強会とその模擬投票体験」をセットにした研修の場を、無所属会派では、東京23区の自治体議会や、その他の知人友人がある自治体議員に口コミで広げたいと思っているところです。今回の勉強会の結果を適切に説明できれば、それほど困難なことではないと考えています。

あるいは、今回参加した他の会派（無所属会派は、町田市議会の最小会派で所属議員が3名）の議員が所属政党などの友人議員のネットワークを使えば、もっと東京、関東地区で「電子投票開票システムの勉強会とその模擬投票体験」をセットにした研修の場が展開されるでしょう。今回、会派の勉強会を全会派や諸派議委員にオープンにして開催したのは、電子投票という合理的なシステムを大勢の議員に知ってもらいたいという考え方から構想、企画したもので、次に続く議会と議員が誕生することを大いに期待しています。



他方で、町田市議会の無所属会派は、電子投開票システムの存在や仕組むが市民の中にも広がってほしいと願っておりますが、選挙の実施機関で勉強会が検討されたり、あるいは学校の児童会や生徒会の役員選挙で電子投票選挙が実施されると、若い世代への選挙啓発が大いに進むものと考えています。

電子投票選挙が実際に導入されるには、議決機関である自治体議会、条例案や予算案を作る首長と選挙を管轄する選挙管理委員会、それに公正な選挙を求める住民が一体となってこそ、電子投票選挙の導入事例が増え、電子投開票システムのさらなり利便性が高まると考えるものです。



町田市議会 無所属会派 松岡みゆき代表、新井よしなお、吉田つとむ

追加資料

「電子投開票システムの勉強会と模擬投票体験」のご案内（2025.09.13発表）

電子投開票システム勉強会の次第（2025.9.22 開会前、参加者にメール配信）

他議会への案内文（今後、サンプルを作成予定）

報告担当 吉田つとむ 問い合わせ 090-4061-9667